# 第6学年情報カリキュラム 実施時期 5月~6月

## 1 単元名 生成AIを相棒にしよう

#### 2 単元の目標

対話型生成 AI の特性を理解し、意図した結果に近付けるために質問や指示を工夫するとともに、自分や周りの人のためになる使い方をしようという態度を育てる。

### 3 評価規準

知識・技能	生成AIは指示によって回答が変わるなど特性を理解できる。	
	生成AIが活用できる場面を理解できる。	
思考・判断・表現	自分の意図した結果に近付くよう、質問や指示の細分化や具体化につ	
	いて考えることができる。	
	自分の考えを生成AIに伝わりやすいような形で言語化できる。	
主体的に学習に	自分の意図に近づくよう、試行錯誤しながら粘り強く取り組もうとす	
取り組む態度	る。	
	身近な生活や社会の中におけるAIの適切な活用について進んで考えよ	
	うとする。	

### 4 単元の構成と時間配当

時	学習活動	留意点・評価
1	○AI について学習したことを振り返ろう	・5年生のときのアンケート結
	・どんなことを覚えているか出し合う	果を紹介する
	・出されたことを機能・仕組み・留意点など大まかに	
	まとめる	・情報収集型の他に指示実行
	○学習問題を設定する。	型や創造支援型の事例も引き
		出せるとよい(名称は指導者
		側で意識するのみにとどめ

#### 【学習問題】

生成AIを使いこなすにはどんなことに気をつければ 良いだろうか。

- ・「うまく使える」とはどのような状態かイメージを 出し合い共有する。
- ○予想を立てる。
- ウェブ検索で調べるときとの違いは何か。
- ・事実かどうか確かめる方法はどうするか。
- ・事実と異なる回答が出やすいのはどんなときか。
- いつも確かめなくてはならないのか。
- 確かめる必要がないのはどんなときか。
- ○教師が用意した課題に取り組む。
- ・検索の場合は単語で入力する。
- ・生成AIには文章で入力する。
- ・こちらから示した情報を評価分析などする場合は確 かめる必要はないことを理解する。

る)

- ・教師が、ハルシネーション が起きやすい課題とそうでな い課題を用意し、実際に生成A Iを活用して調べてみる。
- ・ウェブ検索での方がよいことのと、生成AIの方がよいことのように対比して調べることも考えられる

- 2 ○前時の振り返りを行う。
  - ・生成AIを上手に活用するためのポイントの整理をする。
  - ○学習問題を確認する。

#### 【学習問題】

生成AIを使いこなすにはどんなことに気をつければ良いだろうか。

- ○生成AIを活用したディスカッションを行う。
- ・テーマに沿った立場をグループごとに選び、自分たちの主張を生成AIを活用しながら、説得力のあるものにしていく。
- ○学習したことに基づいて仮説を立てる。

・前時のロイロノートの資料 をもとに、ウェブ検索と生成A Iの違いについて確認する。

- ・教師が用意したテーマをも とに、立場を決めて、文章を 作成する。
- ・これまで生成AIについて学

	・生成AIを相棒にするための正しい使い方に関する仮説を立てる。 ・これからの学習で使ってみたい場面を話し合う。	習してきたことを整理し、自 ら仮説を立てて、どのような 学習で生成AIを活用していっ たらよいか考えられるように する。
別	(各教科、総合などで立てた仮説を基に使ってみる)	
3	<ul> <li>○学習をまとめよう</li> <li>・学習の中で使ってみて新たに気付いたことや確かめられたことを共有する</li> <li>・原山小の生成AI活用ビジョン2024をまとめよう例えば</li> <li>→自分や周りの人が笑顔になる使い方をしよう</li> <li>→どこでAIを使ったかはっきり示そう</li> <li>→のときは事実かどうか確かめようなど</li> </ul>	